

広島県企業がスリランカで飲料水浄化ビジネスに挑みます

広島県環境産業クラスター会員の(株)Emax

国際協力機構（JICA）は6月20日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社 Emax（広島県海田町、兼田祐輔代表取締役）が提案する「飲料水浄化装置案件化調査」（スリランカ）を採択しました。

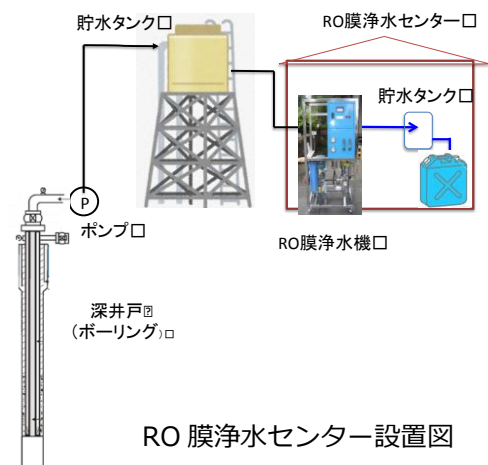
スリランカ北中部州の農村地域では飲料水として使用されている井戸水に起因する慢性腎臓病の発生が大きな社会問題となっており、その対策が喫緊の課題となっています。スリランカ政府は慢性腎臓病の原因をカルシウムとフッ素の多い硬水や稲作地帯で農薬等を多用していることによる地下水汚染と因果関係があると考え、安全な井戸水の供給の拡充を急いでいます。

同社の製品で使用されている RO 膜は孔の大きさが約 0.0001 ミクロンであり、水以外の不純物を透過しない性質を持ちます。そのため一般細菌、農薬、除草剤やフッ素を除去でき、井戸水を安全な飲料水にすることができます。また、同社の製品は手動式であることから、無電化地域や屋外の井戸のそばに浄水器を設置することができます。

案件化調査では、同社の RO 膜浄水装置を RO 膜浄水センターと学校・病院に設置し、これから数か月をかけて水質改善効果と技術的適用性を調査・分析を行います。



手動式 RO 膜浄水装置



RO 膜浄水センター設置図

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2017 年度第 1 回分は今年 3 月に公示を行い、36 件が採択。

参考：(プレスリリース) 案件化調査 2017 年度第 1 回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 総務課 担当：新庄
 TEL：082-421-6300 FAX：082-420-8082
 E-mail：Shinjo.Kanae@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

